

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市西山児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター
3	指定期間	平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 15,100人 (前年度比 98.7%) 平成28年度 15,294人 平成27年度 14,870人 平成26年度 11,367人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 27,095千円 ( 23,025千円) ( )は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 ( 0千円) ・ その他収入 0千円 ( 0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート, 児童館運営懇談会, 児童クラブ保護者会を実施。

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
III	施設・設備の維持管理	職員がチェックリストにもとづいて日常点検を行うとともに、業者委託による建物・設備等の定期的な保守点検も実施されており、安全に利用できる施設環境が整えられている。また、ごみの持ち帰り、節水、節電を館内掲示で呼びかけるなど、仙台市環境行動計画に則った取組みも行われている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。職員は、利用者に対する気持ちのよい挨拶や丁寧な対応を心がけている。	S
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、児童クラブ通信、連絡帳、迎え時のやりとり、親子交流会等、様々な機会をとらえて子どもたちの遊びや生活の様子を伝え、保護者との連携に努めている。また、異年齢交流を図るため、自由来館児童も参加しやすいよう、自然体験活動等の実施日や実施時間を工夫している。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>当法人が運営団体となってから5年度目を迎えた。乳幼児親子の平日利用数は1日平均4.9組、児童クラブ児童平日出席率1日55名程度。29年度利用者数は15,100名と地域にとって必要性の高い施設となってきた。</p> <p>独自の活動「健脳健骨運動」には毎回平均10名の高齢者の方と乳幼児親子と一緒に参加し、活動後の交流お茶会を通して、地域の世代間交流を促している。高齢者の多い地域ならではの活動を心がけて丁寧に取り組んできた。</p> <p>新たな取組みも始めた。一つ目は小・中学生ボランティアグループ「ニシヤマセブン」を設立、子どもたち自身が考え、地域をよりよくするためにどんな活動が必要かを職員と協議し、「西山地域をよりよくする活動」を実施している。館行事のジュニアボランティアとしても活躍し、未来の地域の担い手としての意識を高めている。二つ目は近隣の4つの子育て支援施設と子育て支援ネットワークを立ち上げた。定期的な情報交換会議を行い、11月には共催の乳幼児親子向け行事を実施。70組近い乳幼児親子の御利用を頂いた。児童クラブは利用数がさらに上がった。児童の遊ぶ空間と時間配分がまた課題となり、受け入れ方法や、タイムテーブルの見直しなど、子どもたちの安全を図りつつ、上手に心と体の発散が図れる効果的な運営について何度も職員間で協議を行った。「世界の広場」、「キャンプ」、「親子の会」、「地球探検隊」等法人の特色を活かした活動を今年度も実施することができた。</p> <p>乳幼児活動については、館情報の外部発信を積極的にするためブログの作成と更新、リーフレットの刷新などを図った。</p> <p>来年度は当法人の運営2期目の1年目。さらに地域に必要とされる児童館を目指していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域に根ざした児童館を目指し、小中学校、町内会、地域諸団体等と連携しながら、事業の充実に取り組んでいる。</p> <p>地域向けの児童書や育児書等の図書貸出し、児童館を会場とする高齢者の健康教室、コンサートの実施等により、多くの住民が児童館に集い、児童館が地域交流の場となっている。</p> <p>児童健全育成事業では、毎月の野外での活動、キャンプ、外国人との交流活動など、自然体験や社会体験の機会が設けられており、評価できる。また、放課後子ども教室と行事を共催で行うなど、連携もよく図られている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室